

環境調査結果のお知らせ

平成25年10月18日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は19.3~22.1℃、塩分は27.3~31.6でした。前回調査時(H25.10.16)と比較して、水温は1~3℃低下、塩分は8~10上昇していました。

溶存酸素量(表1)

湾内の溶存酸素量は6.1~7.1mg/lで、前回より1mg/l上昇していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、貝類の赤変化を引き起こす危険性のあるミリオネクタ・ルブラが1cell/ml確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素量

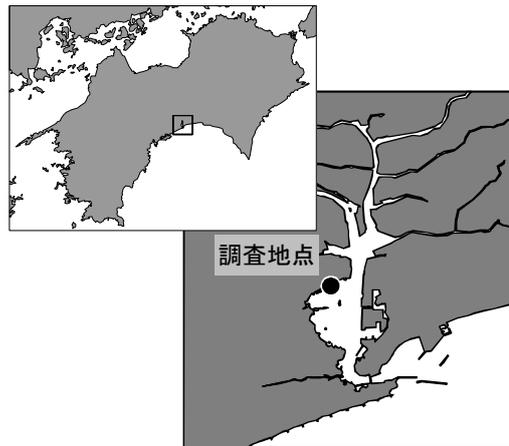
測定水深 (m)	今回調査			前回調査(H25.10.16)		
	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)
0	19.3	27.3	7.1	22.5	19.6	5.9
1	21.6	30.3	6.4	22.7	19.9	5.8
B-1	22.1	31.6	6.1	23.4	21.7	4.9

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.0	2.7
透明度(m)	2.5	2.6

表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深 (m)	ミリオネクタ・ ルブラ	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ケイ藻類
0	0	0	140
1	1	3	930
2	0	1	270



漁業被害が想定される細胞密度
ミリオネクタ・ルブラ(貝類の赤変化): 10cells/ml